

風邪症状や熱は家で休養するよう指導（出停）「届」あります

登校後

教室に入る前に、石けんによる手洗い

●健康観察カードのチェック

- 欠席児童の状況把握、確認、共有。
- 連絡がない子に連絡
- 健康観察簿を職員室へ提出

カード記入あり

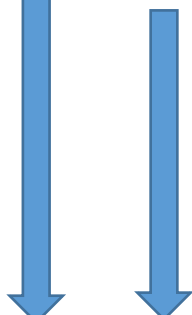
記入あり（37.5以上体調不良）もしくは記入なし

教室で検温をする

体温計のアルコール消毒



37.0以下かつ
全身状態よし



元気😊

活動中も、随時健康観察。



37.0以上37.4以下

（体温の数字は目安
個人差あります）



水分補給・安静にして再検温



熱が下がる



体温計のアルコール消毒



体調不良の訴え



37.5以上



保健室へ

- 発熱や咳など風邪症状のある時は養護教諭・担任などが保護者連絡
- （状況に応じて校長室など別室を活用）
- 早退後は消毒
- （対応を先生方にご協力いただくことも）

トイレの後や活動の前後の手洗い

（給食・掃除・特別教室・体育・休憩時間など）

水分補給のこまめな声掛け

（マスクをしていると全身の水分が足りなくなっているものの渇きを感じにくいので、意識して飲む）

換気を行う

密集・密接を避ける

手洗いの指導（ソープの使い方）

暑さの中での換気のコツ

空気の流れを作る！！

教室・特別教室

エアコンをつけ

授業中は対角線に2か所、最低10CM以上は開けておく

休み時間はカーテンを開け、窓を2か所全開にして開放

換気扇や扇風機も利用して、気流をつくる

体育館：上の窓・テラス側扉 開ける

スポットクーラー使用時も開放

※温度調整しやすい服の指導

※熱中症にも注意。距離があればマスクを外してもよい

これからの季節の体育の時は、熱中症対策、距離を放してマスクを外す

※授業中もこまめな水分補給

※my 氷の活用

※熱中症対応グッズの活用

(保冷剤・霧吹き・うちわ・塩・スポーツドリンク・紙コップ)

→体育館に設置 保健室に持ち出し用保管

下校 手洗いをして下校するよう指導

帰宅後、手洗い・うがい・健康観察をするように子どもに声掛け

放課後教職員

・消毒(毎日) ・トイレ掃除

・休んでいる子の状況把握(担任)

感染予防の原則

飛沫感染への対策…マスク着用、距離をとる。

接触感染への対策…活動前後の手洗い・共用物の消毒

消毒について

方法：アルコール(75%)をペーパーに吹き付け拭き取る。

場所：複数人が触る場所

共用するもの

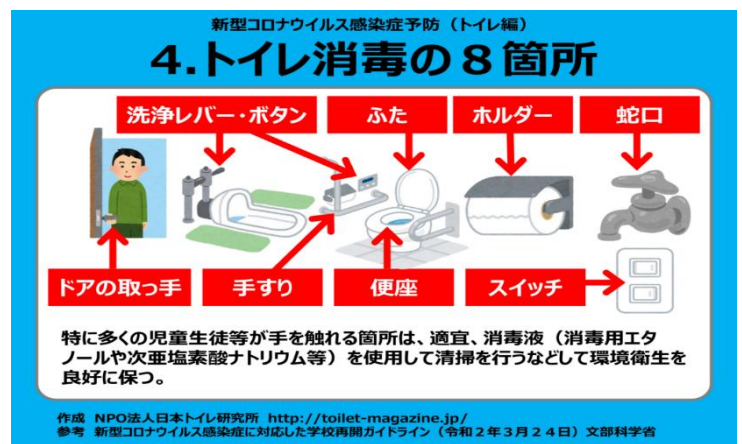
教室(ドアノブ、スイッチ、イスの上部など)

特別教室(机、イス、ドアノブ、スイッチなど)

手洗い場(蛇口、石けんのポンプ上)

階段の手すり

トイレ(右記参照)



トイレの床は水を流さず、回転モップで拭き取る(次亜塩素酸ナトリウム希釈液 水9Lにキャップ2杯で消毒後水拭き)